

【保護者向けメッセージ】

「男らしさ」「女らしさ」ではなく

「その子らしさ」を大切にしましょう。

子どもは一人一人違うもの。

「男」「女」などで分けたりせずに

ありのままの子どもの姿を見てあげましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

条件をつけたり、おどすような

言葉かけになっていませんか。

「～しないと〇〇してあげない」よりも

「～しようね」と具体的に伝えましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

だまって お世話されると

子どももびっくりします。

「おむつかえようね」「鼻水ふこうね」

など今からすることを言葉で伝えると

安心します。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

子どものことばや していることを

否定していませんか？

「ダメ」「ちがうよ」～と言われると

自分が否定される気持ちになります。

どうしたらいいのか子どもと一緒に

考えてみませんか。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

ひとり遊びも 大切な時間

そっと 見守りましょう。

子どもが集中して遊んでいる時は

自分で考えている時間です。

子どもが困っている時など

必要な時に援助しましょう。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

子どものプライバシーを

守ってあげましょう。

子どもも「はずかしい気持ち」があります。

着替えやおむつ替えは

人目のつかないところで。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

子どものそばで

やさしい声で はなしましょう。

子どもと目線を合わせて

語りかけた方が 子どもに届きます。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会

「まって」より「なあに？」

今 聞いてもらえると 満足です。

手を止めて、少しだけ話に耳を傾けましょう。

今、受けとめてもらったことが

安心感につながります。

福岡市立保育所 人権保育推進保育士研修会